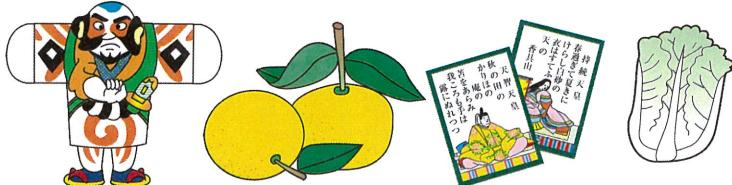


各学校に3部配布しています。

学校用（校長先生・教頭先生）1部、PTA 役員用2部



市P連ニュース



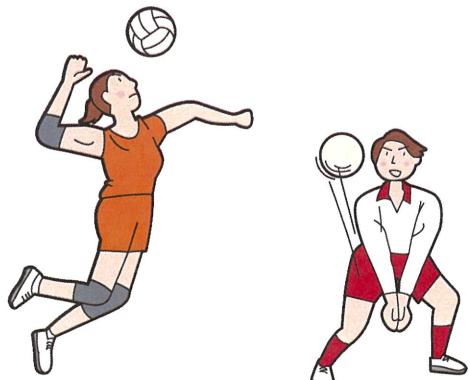
令和5年度 No.3 (1/10 発行)
千葉市PTA連絡協議会

第44回市P連バレー ボール大会が開催されました

令和5年12月9日（土）に、本年度完成した千葉公園総合体育館（ヨハスアリーナ）にて第44回千葉市PTA連絡協議会バレー ボール大会が開催されました。各区P連の予選を勝ち抜いてきた10チームが参加し熱戦を繰り広げました。予選は2つのコートに分かれ、それぞれ5チームによる総当たり戦の予選リーグを行いました。予選リーグ第1コートを勝ち抜いた松ヶ丘小学校、千城台西中学校、予選リーグ第2コート勝ち抜いた坂月小学校、誉田中学校の4チームが、午後から行われた決勝トーナメントに進みました。その結果、決勝戦は千城台西中学校と松ヶ丘小学校の対決となり、結果は8対5で千城台西中学校が、予選リーグのリベンジを果たして優勝しました。どの試合も白熱した熱戦でした。なお、試合成績は以下の通りです。

優勝：千城台西中 準優勝：松ヶ丘小 3位：誉田中 4位（敢闘賞）：坂月小

参加校 誉田東小 花見川中 都賀小 葛城中 幕張小 都賀中



第3回理事会議事録

令和5年11月15日(水)10:00～12:00

千葉中央CC5階美術視聴覚室

進行 泉副会長

1 開会のことば 政田副会長

2 会長挨拶(要旨) 三谷会長

市P連改革の一つで役員会をオンラインで実施しました。オンラインで協議することについての課題がいくつかわかったので今後解決していきたい。今後も負担軽減しながら前例踏襲するのではなく、よりよくして進めていきたいと思います。教育予算拡充の署名のご協力ありがとうございます。1367筆いただきました。オンラインはまだ受け付けていますので引き続きご協力お願いします。単PでPTAを紹介するとき等に使う動画、ハンドブック、FAQ集が市P連HPの「PTAお役立ち集」の中にはあります。千葉市以外の協議会で活用されています。是非千葉市でもご活用いただければと思います。

3 生涯学習振興課挨拶 小出様

情勢によって色々変えていくのは大事だと思います。慣習だからということではなく、本日の議事の中にも7年度等の議題も含まれていますが、よりよくという意味で工夫していただければと思います。宜しくお願ひします。

4 学校の様子について

○山崎副会長(校長会)

インフルエンザが流行っています。中学校では合唱コンクールを終えていて、年内の大きな行事が終わったというところです。各学校中間テストを行っているところです。3年生が進路決定に向かって面接等しているところです。

○廣瀬副会長(校長会)

11月学習発表会の日、バザーの代わりに、子どもたちのために出し物、マジックショーやbingoなどPTAが工夫してくれたことに感謝しています。集金を手集金をやめてアプリを使うなど工夫してくれています。PTAが学校の力になっています。

5 報告

(1)会務報告 事務局【別紙参照】

(2)各区P報告

○中央区

12月2日 役員会、理事会、研修会、懇親会予定

○稲毛区

・理事会を2回に減らしニュースレターを2回発行予定。役員会にて7年度以降の輪番表作成したが、その後に出向校が退会となって協議中。退会したい学校については、市P連退会の手順がわかつていないので作って欲しい、届け出のひな形も欲しい、区Pとしては何月まで受付をしていいのか、基準を決めて欲しい。

→会長より

・区P連と市P連は別であるためそれそれで決めることが検討していく。

→事務局より

・規約に関わる場合は総会にかけることもあるので協議していく。

○花見川区

・理事会実施。11月19日バレー大会実施予定。単Pの情報交換をしている。役員選出の取り組みを情報交換している。区Pイコールバレーになってしまっている部分もあるので、市Pからも区P市Pの役割について説明してもらった。

○緑区

- ・10月22日バレーボール大会開催。9校7チーム
- ・11月5日ふるさと祭りペットボトルロケットのブースを出店した。
- ・バザーについて、単Pによっては食べ物ありのところもあった。

○若葉区

- ・ハイブリットで理事会開催。バレーボール大会実施。運営スタッフ8名で回すことができた。研修会2/14環境についての研修。北貝塚小と合同の形。

(3)常置委員

○事業委員会

- ・バレーボール大会の準備を進めている。

○広報委員会

- ・研究大会で取材撮影。バレーボール大会の取材撮影予定。

○総務委員会

- ・研究大会手伝い実施。

○その他

- ・事務局より…関東ブロック千葉県大会で鶴沢小が事例発表し好評だった。

- ・研究大会の講演を後日 YouTube配信予定。

6 議事

議長 小早川副会長

(1)研究大会反省 事務局より報告 意見は特になし

96名の参加(出席率60%強)

(2)バレーボール大会 事務局

資料にて当日の流れを確認・承認

(3)新年情報交換会について 事務局 資料にて内容の確認・承認

令和6年1月27日(土)

情報交換会 16:20～

懇親会 18:00～

申し込み締め切りは1月上旬

(4)次年度年間行事について 資料にて確認・承認

研究大会と情報交換会と同時開催 承認

(5)指定都市情報交換会千葉市大会の開催について 資料にて確認・承認

遅くとも令和6年2月に実行委員会を立ち上げる 承認

(6)役員選考委員会について 事務局 確認・承認

各区宛に資料あり。今年度より1回とする。選考委員は区P連会長。

常置委員の割り当てについては継続審議とする。(12月役員会にて審議)

(7)日本PTAからの退会について…説明・意見交換の上、承認

1.日本PTAとは

2.千葉市の事に集中したい

3.予算負担の見直し

4.日本PTAの加入メリット…各省庁への意見具申や提言等、全国協議会の情報交換、PTAの最新情報

日P退会する趣旨説明)

今の日本PTAは行政への意見具申はできていないのが現状です。「ホームページに活動をわかりやすく記載してください。」と何度も役員に話していますが、見て分かる通りです。赤字をだしているので、理事会の議事録も要求していますが、役員会、理事会の議事録公開はされていません。千葉市だけでは赤字や

突然の日 P 会長解職についてお答えしていただけないので、規約にある 1/10 以上の協議会が集まり、情報公開請求を出しましたが、説明責任を未だ果たしていただいておりません。また毎年、千葉市Pの代表者として全国大会は予算が 8000 名に対し参加者が 4000 名であれば、参加人数に合わせた大会規模へしたらどうかと提案しています。PTA を勉強することは良いですが、関東ブロック大会も目標参加者数の半数しか参加しないなら、その時代、規模に合わせたやり方にする。という提案をさせていただいている。

何のための全国組織なのか。情報交換は必要ですので、現在全国の政令市や県等との情報交換の場を作っています。国に対し意見具申を出すことは、日 P 脱退により千葉市 P として難しくなります。ただし、千葉市に現場の声を届けることが千葉市Pとしては優先順位が高いと感じております。

千葉市にもっと目を向かなければいけません。いま千葉市の単 P が困っているのに、日 P を向いている余裕はありません。もっと千葉市のPTAに時間を割いて、行政へ関わり、単 P に目を向けていかないと千葉市 P、区 P、単 P がなくなってしまいます。

会費負担については、千葉市 P は会員 38,000 人程度です。会費 100 円とすると予算規模は 380 万円。日 P に 1 人 10 円の会費やその他の協力金等で年間 85 万円近くを使っています。会員数が少ないので、日 P にかかる予算の比率が高すぎます。これでは、なんのために千葉市 P に会費を払っているのだろうとみんな思ってしまいます。

日本 PTA を退会することにより、会費運用の見直し、役員負担軽減。千葉市の PTA のために向く時間が増やせます。子供達、教職員、PTA、学校環境改善のために、組織の力として、各所に現場の声を届けなければいけません。

千葉市 P がやっている事業、大事なところは残しつつ、改革、スリム化しないと、会員からの理解を得られないという苦しさもあります。今、PTA のあり方を改革していくことが求められています。千葉市 P もこれからを見据えた活動にすべく、日本 PTA 退会の提案をさせていただきました。

意見・質問)

- ・赤字に対して不誠実な対応続ける組織に加盟しているメリットはないと思う。
- ・日 P の保険はどうなるか→その対象からは外れる。市 P の保険での特約で検討

表決)

出席者 19 名 賛成 19 名 反対 0 名

7 情報交換

- ・スポーツ推進委員の方へのお礼はどうしているかについての情報交換
- ・出向人数を減らすのは難しいのか
→継続審議中だが、役員、常置委員ともに負担が減っている事を各区Pで伝えてほしい

8 連絡

- (1)次回理事会案内 事務局 資料確認
- (2)「市 P 連ちば」原稿依頼 各区 P 連会長 広報委員会

9 閉会の言葉 小早川副会長

【出席者】三谷会長、小出市教委職員(オブザーバー)、政田副会長(途中退席)、泉副会長、小川副会長(途中退席)、小早川副会長、山崎副会長(校長会代表)、廣瀬副会長(校長会代表)、伊藤会計、杉本書記、川田事業委員長、牧野総務委員(委員長代理)、吉田広報委員(委員長代理)、

田口理事、大槻理事、片桐理事、鳴原理事、長崎理事、藤村理事、戸村理事、青山理事、岩澤理事
廣森事務局長(議決権なし)、前田事務局員(議決権なし)